



この教材は、平成 28 年度子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)の助成を受け、NPO 教育支援協会北海道が放課後指導者育成のための教材として開発したものです。  
この教材およびデータを、非営利目的の青少年教育活動で使用する場合には、NPO 教育支援協会北海道までご連絡ください。

Lesson2-3

所要時間の目安： 10分～15分

## I have... / ゲーム / 人間一列bingo

低学年向け

### ●このアクティビティの目的

Yes, I do. / No, I don't. を使って自分が持っているか持っていないかを答えることができるようになること。

■使うセンテンス : Yes, I do. / No, I don't.

### ●使用する教材・教具

・絵カード ・手札カード

### ●指導のしかた

※T=先生 Ss=子どもたち

- (1) TはSsを5～6人1チームで列に並ばせます。
- (2) 各チームに手札カードを1人1枚配り、立たせておきましょう。  
配る手札カードの種類は、クラスの人数を見て調整します。
- (3) Tはランダムに手持ちの絵カードを引いて"Do you have a (pencil) ? などと聞きます。
- (4) Tのめくった絵カードと同じ手札カード (pencil) を持っている Ss は"Yes, I do."と答え、  
その場に座るように促します。  
持っていない Ss は"No, I don't."と言い、そのまま立ち続けるように伝えます。
- (5) 一番先にチーム全員が座れたチームがbingoでポイントになります。  
先に3ポイント取ったチームの勝ち、などとルールを決めて活動時間の配分を見ながら  
行ないましょう。

### ●このアクティビティができるタイミング

自分の持ち物について尋ねられていることが分かり、  
Yes, I do. / No, I don't. で答えるようになったらできます。

### ●指導のポイント・留意点

Tはカードをなるべく Ss に見せずに、原則口頭で行なうようにしましょう。  
Ss が設問の単語を理解していないと思われる場合は、カードを見せて確認しましょう。